

第44号

〈発行〉
平成17年7月7日

国立神戸視力障害センター

センターだより

〈発行〉 国立神戸視力障害センター 神戸市西区塚町1070 電話(078)923-4670 FAX(078)928-4122
URL <http://www.kobe-nhb.go.jp> E-mail syomu@kobe-nhb.go.jp

理療教育課程入所式・生活訓練課程入所

今年は冬が長く、3月下旬でも寒さに震えているようでしたが、4月にはいと日差しも暖かく、一気に春がきたという感じでした。桜の開花も例年よりも遅く、ちょうど4月7日の入所式の時に満開となり、艶やかな入所式が迎えられました。今年度の新入所生は高等課程が3名、専門課程が16名の計19名の方が、理療教育課程へと入所されました。比較的県内の方が多く、19名中11名が通所となっています。片道2時間近くかかる方もおり、勉強との兼ね合いが大変ですが、5年ないしは3年後に、無事国家試験合格を果たし、免許を取って新しい春が迎えられるよう、頑張ってください。

また、生活訓練課程の利用契約の手交も行われました。随時入所を取り入れて行く中で、センター側の受け入れ準備が整い次第、順次入所していただく形で、この度は4月18日に新たに3名の方、そして5月9日に3名の方が入所されました。理療教育課程のように、入所式というものは行わず、契約を取り交わした後は、すぐにオリエンテーションを始め訓練に向けての導入を図りました。

理療教育課程及び生活訓練課程において、難聴の方、盲ろうの方が入所されるなど、コミュニケーション手段や授業方法についてサポートが必要な場面が出てきています。今後障害者自立支援法の制定によって、ますます障害の枠が取り払われていく中、センターの体制についても熟慮していく必要があるように感じられました。



平成17年度 新入生紹介

平成17年度理療教育課程に入所された方々に抱負を語っていただきました。
どうぞ、よろしくお願いします。

始めまして、私は難聴と網膜色素変性症で視野がほとんどありません。将来は自立するために、難しい勉強を覚えて、資格を取って、生活が出来るように目的をもってがんばりたいと思っています。センターの皆さん、いろいろとお世話になりますが、よろしくお願いします。(大西 民子)

人生の新しい1コマがスタートし、ただ今 学生生活満喫中。

センターに入寮して生活が規則正しくなりました。(…?)
授業では新鮮な単語に頭を悩ませ、余暇時間はジムでトレーニングをしています。脳と体、そして施術師としての腕を毎日コツコツと鍛えていきたいと思っています。よろしくお願いします。(中村 吉昭)

親燕が道路を低空で横切るのを、毎日ハラハラしながら、通所しています。子燕の鳴声が、この2・3日あまり聞かれないのが、少しさびしいです。

さびしいと言えば、家の近くにある商店街のアーケードに、巣を作っている燕の数が少なくなった様に思います。よく見ると、バリアを設けている店舗が増えたことに気が付き、いろいろ考えさせられました。

子供の頃、燕の巣を棒切れでつついて、おばあさんに怒られたことを思い出しました。農家では燕を大事にしていた様に思います。私は、この様な、心の風景をこれからも大事にしたいと思っています。これからの5年間が、未来の私にとって、心の原風景となる予感がして、毎日ワクワクしています。(原田 裕行)

私は視力障害の進行に伴い、30年余り勤めた機械の設計会社を退職し当センターに入所させて頂きました。これからも長いであろう、人生の為三療の国家資格を取得したいと思っています。健康に留意しファイト!! ファイト!!で頑張ります。(山下 明)

入所式の桜の華やかさにうっとりしているのもつかの間、厳しく楽しく難しい授業に1日が終わるのも早く、忙しさが身にしみています。体の仕組みを考え、

良い治療ができるように「がんばり!!」
(岡本恵美子)

私は専科の1年生です。私の住んでいる所は大阪府と京都府の境目に近い所です。人口3万の小さな町です。小さいときは体が弱くて病院を入退院の繰り返しばかりでした。でも今は元気になって何か仕事がしたくなり当センターを尋ねました。入所させて頂きガンバリマス。よろしくお願いします。(馬場 陽子)

入所にあたって、不安・焦燥・希望と色々な思いが一度に噴出。一月を迎えようとする今では、二十余年ぶりの授業や実習で新しく覚えることばかりで、色々な思いもどこか遠くに置いてきたような思いであるが。新たな問題が生じてきた。それは、私の萎縮した古い脳は迷走し暴走しているのである。早くこれを抑制・制御できるようにし、少しでも学友についていきたいと思っています。又、教科担当の先生方や指導課の方々にもご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。(風 雅弘)

自分は社会にとって、なんの役にも立たない人間なのではないか。一年前、僕はそんなふうにおもいつめていました。バイトを転々とし、職安に行っても自分の出来る仕事が見つからず八方ふさがりになっていました。視力障害センターを紹介してもらった時も、正直とまどいました。自分に出来るのかどうか不安だったのです。しかし周囲の人たちに相談し、自分の頭で考えた末、入所することを決意しました。

—いまの自分にはこの道しかない、と—

自分が生きていくための活路を見出すため、この三年間、精一杯努力していきます。(久下 靖晃)

希望と不安を胸にこのセンターに入所し一ヶ月が過ぎ、ようやく寮生活にも慣れてきたところです。

大学を卒業し、これまでに学んだ知識を活かせる職業に就きたいと考えていた矢先、病気の進行、障害者手帳の取得という現実を突きつけられ、正直言って私

は動揺しました。考えれば考えるほど将来への不安は増すばかりです。家族とも相談し、三療の世界に飛び込んだわけですが、私がめざしていた職業も三療も「人と直接関わることができる」「人の役にたてる」という底流は、決してかけ離れたものではない、と今では思えるようになりました。私を支えてくれる家族、友人のおかげです。また、職員の方々にはお世話になります。

三療のプロを目指して、技術の習得に力を入れてがんばります！
(北村 稔)

51歳、年齢的に決して若くなく、神戸視力障害センターに入所する事になり、期待と不安がまじりあっているところです。人生にはいくつもの谷や山がありそれを乗り越えて行く、これが人生だと新たに実感しています。<前進あるのみ>
(富田 俊明)

茶道・看護学校・法学部・教員免許取得で長い学生生活でした。一生涯学校で学ぶ事はないと思っていました。今は何一つ役立っていません。交通事故を契機に日本ライトハウスに入所しました。職員の方々より「エネルギーがあり余っているのでそのパワーを活かして今後の長い生活に向けて考えられたら」との三療のおすすりもあり、大学学友、教務経験者の看護学校の同級生のアドバイスがあり受験の運びとなりました。やっとの思いで決意しました。3年後、全員の国家試験合格を願っています。決心した以上一生懸命努力します。皆様方どうぞよろしくご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。
(山下のぶ子)

ほくは軽音楽部とフットサル部に入っている金髪の18歳です。運動が好きで筋トレマニアです！！勉強はキライやけど学校の環境もすごしやすいし、授業もわかりやすく教えてもらえるからガンバレそうやなあと思いました。3年間頑張って資格をとりたと思っています。
(伊達 宗規)

これから3年間焦らずぼちぼちと知識と技術を習得したいと思います。又、学校でしか体験できない事もあるので、有意義な学校生活を送りたいと思います。よろしくお願い致します。
(岩本 一成)

今年で49歳「この年齢で今さら勉強なんて・・・」不安ばかりでこのセンターに入所しました。「先生の激より怖い妻のケリ」一句。1日でも早く愛する猫と

妻を養えるような三療師になる。妻に尻をつつかれて必死の思いで教えを吸収したいと思います。やさしくサポートして下さる方々、丁寧な指導の先生方と充実した環境の中で、あとはもう「やるしかない」。そして私より重い障害を持ち多くの難問をかかえてガンバル友人に負けぬ強い心で、日々をむだにしない様3年間を終えたいと決心しています。
(清水 信夫)

センターに入る1年前より理療のほうへいくと決めていました。入学して早くも1ヶ月ちょいすぎました。正直少し楽に考えすぎているところもありますが、3年後ちゃんと自立できるようがんばりたいと思います。
(河原井 健)

僕は生まれつきの緑内障で、周りの人たちに比べ物がよく見えないことは理解しているつもりでしたが、将来についてあまり深く考えたことが無く、楽観的に捉えていました。

しかし、昨年の年末に突然病状が悪化し、入院することになり、今までの当たり前でできていたことすら間々ならぬ生活を強いられるようになってきて、そのとき初めて、将来について考えるようになりました。自分なりにあれこれ調べていく内に、この神戸視力障害センターのことを知り、とにかくやってみようと突発的に思い立って、このセンターに入学してきました。

いざ、入学してみると今までとはまったく環境が変わってしまい、戸惑うことも多々ありましたが、それまで考えもしなかった世界を垣間見れる喜びを感じています。これから3年間、自己をよく見つめ、後悔のない人生を送れるよう、日々精進していきたいと思えます。
(中田 学)

本年度より、当センターにお世話になることになりました。川原正義です。年齢は47歳、サラリーマンを30年近くやっておりましてので一番の心配は勉強についていけるかどうか不安です。しかしながら、全力をつくしがんばってまいりますので今後ともよろしくお願いたします。
(川原 正義)

今までは音楽(ピアノ)を勉強しておりました。これからは鍼灸の勉強をするわけですが、音楽からは離れず学んでまいります。将来的には、音楽療法などもできればいいと考えております。まだまだ未熟者ですが、よろしくお願致します。
(大和真祐子)

第44回神戸市障害者スポーツ大会

今年は神戸市障害者スポーツ大会へ、のべ11名（卓球3名、陸上3名、水泳5名）の方が出場されました。今大会は、来年度開催予定の第6回全国身体障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫大会」のプレ大会としても開催されました。種目ごとに日にちが分かれており、卓球・陸上・水泳競技に、重複して出場することができました。水泳は7月中旬のため、今回は掲載できませんが、卓球及び陸上の健闘結果を報告いたします。

卓球の部

平成17年4月17日

さる4月17日、第44回神戸市障害者スポーツ大会（卓球競技）が神戸市立中央体育館にて行われ、当センターのサウンドテーブルテニス（S T T）部員3名が出場しました。神戸市主催の大会参加は初のことであり、最初はおっかなびっくりなところもありましたが、S T T部門の参加者は全9名、和気あいあいとした雰囲気の中で行われ、新品の台も心地よく、日ごろの練習の成果を十分に発揮できたのではないかと思います。S T T部員の3名は、それぞれメダルを手にする事ができ、全国大会に1歩近づきました。

A 1部（男子） 高5 山崎 正彦 金
 " 専3 石河孝一朗 銀
A 2部（男子） 専2 余田 浩治 銀

また、A 2部（男子）に個人参加していた当センター中西教官と、B 1部（男子）の選手とのエキシビジョンマッチも行われ、観ごたえのあるプレーの応酬が楽しめました。

- * A … アイマスク着用
- * B … アイマスク無し

実習生紹介

よろしくお願ひします！



私は、国立身体障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科2年の大橋里美と申します。滋賀県大津市出身です。性格は、話し方など全体的におっとりしているとかマイペース、自由奔放だとよく言われます。

実習は、一緒に勉強してきた仲間と離れ心細いですが、一方で、新たな出会いに恵まれて楽しさを感じております。3ヶ月間、できるだけ多くのことを学び、発見し、自分で考え、また吸収したいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

陸上の部

平成17年6月5日

6月5日に「ユニバー記念競技場」で行なわれました。競技は、「投技・跳技・走技・フライングディスク」と4種目があり、総勢884名(男子597名、女子287名)が参加しました。視覚障害者は少なく、計39名(男子23名、女子16名)でした。センターからは、3名の男女が参加し、炎天下で熱心に競技をしました。

最初は、ハンドボール投げで、瀬川さん(専門2年)が17m27cmを記録しましたが、最後の投手に5cm及ばず、銀メダルとなりました。しかし、次のソフトボール投げでは、25m54cmで、堂々の金メダルを獲得されました。走り幅跳びでは、石河さん(専門3年)が5m24cmを記録し、金メダルを獲得、最後の5000mでは、大館さん(専門3年)が、25分15秒で頑張り、これも堂々の金メダル獲得です。

ハンドボール投げ:	専門2年	瀬川 真澄	銀
ソフトボール投げ:	同上		金
走り幅跳び:	専門3年	石河孝一朗	金
5000m走:	専門3年	大館 裕太	金



水本達也と申します。埼玉県の所沢にある国立身体障害者リハビリテーションセンター学院の視覚障害学科の学生で現在2年生です。出身は福井県の小浜市で、日本海の荒波に面したのどかな田舎町で生まれ育ちました。好きなものは甘いもの全般で、和洋問わず質より量を好みます。嫌いなものは生姜です。5月から7月末までの3ヶ月間、こちらのセンターで様々なことを勉強させていただきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願ひします。

視覚障害者（児）支援セミナー開催

平成17年3月26日(土) 13:30から16:30まで、近隣地域の中学校、高等学校教員を対象とした「視覚障害者（児）支援セミナー」を開催しました。このセミナーは地域に開かれたセンターとして、近隣の学校教員に対して障害者（児）支援のあり方を指導するとともに、本センターの役割を広く普及することを目的として行われました。

セミナーの内容は「視覚障害についての理解と弱視児援助の具体的方法—弱視児指導のヒント—」とし、以下を取り上げました。

1. 視覚障害について—視覚障害児を理解するために—
2. 視覚障害児（弱視児）援助の具体的方法
 - ・教室指導における援助方法
 - ・体育指導における援助方法

当日は3名の参加がありました。参加したどの先生も弱視生徒が学校内に在籍、または今後入学予定があり、よりよい指導を行うためにと課題を持って参加されていました。

開催時期や告知が遅れたこともあり、多くの参加者はありませんでしたが、その分、参加された一人一人の先生方の課題に答えることができ、充実したセミナーとなりました。

講習会の最後にはアンケートを実施しました。その中で、参加した3名から「今後も同様のセミナー開催の必要がある」とのご意見をいただきました。

今後、アンケートの意見などを参考に、より充実した研修会を継続していくよう、検討していきたいと考えています。

(教務課 細川健一郎)

総合避難訓練

5月27日に行われました、総合避難訓練では、西消防署の職員を招いて避難経路の確認後、初期消火についてと、防火扉の開閉方法について訓練を行いました。

4月から新しい入所生や職員が来られ、避難経路及び、避難場所の確認を行った後、西消防署の方から初期消火として消火器の使い方の講習を行いました。消火器は常備してありますが、実際使うこともあまりないため、使い方を学ぶ良い機会でした。防火扉の開閉は、煙や炎の遮断として、廊下を遮蔽するものです



が、実際閉まった場合、あわてず避難するため、扉の状態や開け方を確認しました。どちらも、実際やってみなければわからないことですので、いざという時の為の心構えができたかと思います。いつどんな時に、火災や地震が発生するかわかりません。どこにいても、落ち着いて避難できるよう、日頃の訓練の積み重ねが大切になります。



★ 新規クラブ紹介 ★

軽音楽クラブ

部長 久下 靖晃

UKロック、クラシック、Jポップ・・・各々好きな音楽が違う4人が、一緒になってひとつのものを完成させるというのは、難しくもあり、面白くもあると思います。

現メンバーそれぞれの音楽歴は様々で、まったくのビギナーから音楽大学卒業のベテランまで、とても個性豊かな面々が集まってこの軽音楽クラブは発足しました。それだけに不安もありますが、同時にどんなものができるかという楽しみもあります。

「音楽」とは「音を楽しむ」と書くわけですから、まず「楽しむ」事が大切なのではないのでしょうか。そこからコミュニケーションや信頼関係が生まれれば、とても素晴らしい事ではないのでしょうか。肩肘はらず、気楽に「音楽」をやりたいと思う方はぜひ。



フットサルクラブ

部長 石河孝一朗

フットサルはサッカーを小さくしたような感じのスポーツで、縦40m、横20mのコートでゴールは3mと小さいです。1チーム、キーパーを合わせて5人で試合時間は10分ハーフで行います。

今年の1月に神戸で全国大会があり、そこでは優勝しました。今の人数はギリギリでやっており、練習日は火曜と金曜の3:40~5:00までと金曜は自主練として夕食後の6:00~7:30までやっています。

今年は11月に東京で全国大会が開かれ、そこでも優勝を目指してみんなで頑張っています。興味のある方はぜひきてやってみよう！



センター行事予定

(2005年4月から10月まで)

4月5日(火)	理療教育課程始業式	7月7～8日	福岡視力障害センター交流会
7日(休)	理療教育課程入所式	中旬	生活訓練課程 入所(4)
17日(日)	第44回神戸市障害者スポーツ大会(サウ ンドテーブルテニス)	16日(土)～	理療教育課程夏季休業
18日(月)	生活訓練課程第33期入所(1)	17日(日)	第44回神戸市障害者スポーツ大会(水泳)
		30日(土)～	生活訓練課程夏季休業
5月9日(月)	生活訓練課程入所(2)	8月22日(月)	生活訓練課程訓練開始
13日(金)	解剖見学	30日(火)	理療教育課程授業開始
21日(土)	ハイキングクラブ活動(龍野公園)		
27日(金)	総合避難訓練	9月6日(火)	第1回模擬試験
		28～30日	前期期末試験
6月5日(日)	第44回神戸市障害者スポーツ大会(陸上)	10月3日(月)	理療教育課程 後期授業開始
7～10日	生活訓練課程入所(3)		生活訓練課程第34期入所(1)
8～10日	前期中間試験	18日(火)	健康診断

平成16年度 生活訓練課程修了生の進路状況

	家庭復帰	理教入所	生訓継続	現職復帰	その他	計
前期	8	0	2	1	1	12
後期	4	3	2	0(1)	2(1)	11(2)
計	12	3	4	1	3	23(2)

* () 内は前期継続者再掲

平成16年度 理療教育課程卒業生・修了生の進路状況

	開業	治療院	病院	その他	計
高等課程	0	1	0	0	1
専門課程	3(1)	9(2)	1(1)	6(2)	19(6)
研修クラス	0	2	0	2	4
計	3	12	1	8	24(6)

* () 内は女子再掲

平成16年度 国家試験結果

	あん摩マッサージ指圧師			はり師			きゅう師		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
高等3年	3	3	100.0						
高等4年	1	0	0.0						
高等5年	3	0	0.0	1	1	100.0	1	1	100.0
専門3年	19	18	94.7	19	17	89.5	19	17	89.5
研修クラス	4	2	50.0						
計	30	23	76.6	20	18	90.0	20	18	90.0

今年の国家試験結果は、ほとんどの方が合格という快挙でした。あん摩だけでなく、鍼灸師の資格も併せて取得できた方が多く、これからの治療師としての道に自信が持てたのではないのでしょうか。これまでの努力が実った結果となり、今後の活躍を期待するとともに、後輩達の励みになればと思います。

生活訓練課程は、5月、10月の2期に分けての入所以外にも、随時に入退所できるように取り組んでいます。その結果その人に合わせた訓練期間となり、3ヶ月で修了して家庭復帰をする人、または休職中の方は復職にむけて、職場と調整を図りながら、1年後に無事復職を果たすなどニーズに応じた訓練期間を設定しやすくなりました。また、理教希望の相談の時点で、生活訓練を受けておいた方が良い場合にも、短期間で利用出来るため、理教へ向けての準備段階としても利用しやすくなりました。

生活訓練 内容紹介

パソコン訓練

最近のコンピュータ技術の進歩はめざましく今や一家に一台はパソコンがある時代になりました。コンピュータの出現は視覚障害に関わらず多くの障害者に恩恵をもたらしています。コンピュータが一般に普及する以前の時代は、視覚障害者にとってのコミュニケーション手段と言うと点字、カナタイプライター、オプタコン、そして普通の文字を書く（墨字）でしたが1983年にAOK点字ワープロがリリースされ、普及するに従って視覚障害者にとってのコミュニケーション環境が劇的に変化してきました。カナタイプライターや墨字ではたとえ書けたとしても自分で確認が出来ませんでした。コンピュータを利用することで音声によって自分が書いた文章や相手から受け取った文章が読めるようになったわけです。当時はコンピュータ自体が高値の花で音声装置も別付けて、日本電気（NEC）製のパソコンでしか動作せず、しかも100万円近いという値段にも、多くの人は手が出せなかっただろうと思います。

しかし、1995年頃からいわゆる基本プログラムとなるWindows95が発表され、外資系のコンピュータ販売会社が日本に上陸し、それを追うように日本電気も世界標準であるATX互換機と呼ばれる仕様のコンピュータを製造販売するようになってから急激に価格が低下し多くの人がコンピュータの恩恵を受けられるようになりました。

センターでは1996年にはいち早くWindowsを導入し、当時視覚障害者用ソフトとして普及していた95リーダーやマイワードを利用した訓練を行っていました。現在では生活訓練生の定員に近い台数の訓練用コンピュータを確保し、インターネットに接続できる環境も整い、恵まれた環境の中でマンツーマンの指導を受けることができるようになってきました。訓練の目標は個人によって異なりますが、多くの方がメールの操作やホームページの閲覧を楽しむために訓練を受けています。中には点訳ボランティアを目指して点字編集ソフトの操作を学んだり、家計簿を付けるためエクセルの基礎的操作を希望される方もおられます。今後はセキュリティやネット社会のマナーなども重要な訓練課題になるかもしれません。日進月歩で進化するIT技術に追いつくのは大変ですが、訓練生の皆さんに常に最新で最適な環境と情報を提供できるように努力しているところです。あなたもコンピュータを操作してインターネットの世界を覗いてみませんか？

（指導課 成戸宏幸）



転入職員・新職員紹介

はじめまして



庶務課 石毛 利宏

4月1日付けで福岡センターから庶務課会計係に転勤してきました石毛と申します。出身は千葉で神戸（関西）で生活するのは初めてで、多少の緊張感がありました。

しかし、実際生活してみると近くに海や山の自然がありとても暮らしやすい町だなと思っております。週末は、神戸の街をプラプラとドライブしております。

また趣味はお寺巡り？ですので、今後京都・奈良方面にも足を延ばそうかなと考えております。仕事に関しては、まだ不慣れな点が多く、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

こんにちは



庶務課 宮下 晃

4月1日付けで塩原センターから異動してきました宮下と申します。前の塩原センターは自然豊かで、夏季でもほとんど冷房も必要ない過ごしやすいところでありましたので、この厳しい神戸の夏を乗り切れるか少々心配しております。

また職務のほうは、初めての異動、初めての業務ということでまだまだわからないことばかりですが、諸先輩のご指導をいただきながら1日でも早

くこの神戸センターに慣れるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

お久しぶりです



指導課 有馬（太田）早苗

7年ぶりで神戸センターに戻ってきました。最初の5年間は国立身体障害者リハビリテーションセンターで、後の2年間は大阪市内にある近畿厚生局で修行を積んできました。以前は神戸

市長田区から電車で通勤していましたが、4月からは主婦業から解放され、職員宿舎で単身赴任生活をエンジョイしています。特に宿舎の窓から眺める明石海峡大橋のライトアップされた夜景は何とも言えない美しさです。

慣れない主任業務に右往左往し、相変わらず毎日ばたばたと中央廊下を走り回っております。お近くにお越しの際は是非、お立ち寄り下さい。老眼鏡が手放せなくなったこと以外は7年前とほぼ変化（進歩？）のない状態でお待ちしております。

塩原より



指導課 高橋 博

4月1日付けで国立塩原視力障害センターより赴任してきました高橋博です。神戸は立寄ったことがあるくらいで、如何せん初めての土地に等しく、方々彷徨っております。やはり基本は歩き

で当初は考えたのですが、既に控えて自転車購入を検討しています。まだ神戸センターでの仕事は不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけしているところですが、利用者の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

災い転じて福!



教務課 笹田 三郎

寛大な皆さんに支えられ赴任後1ヶ月、教務課長の笹田です。以下は単身赴任の失敗談です。官舎は4階、主要な家電製品と家具はレンタル。業者さんは洗濯機の設定をするとの約束だった

ので、気楽に初めての洗濯を始めた。ああ困った!なんと床上1cmの浸水。私が排水経路を確認しなかったのはまずい。翌朝、階下の3軒に平謝り。

さて、職場では慣れないことばかり、気疲れの退庁時、西門を出てフラフラ歩き出したら地面がない!深い側溝へ転落。幸い着地はうまくいき指を擦りむいただけだった。

机上のパソコンは晴眼だった前課長が使っていたもの。全盲の私は音声読み上げ用にスクリーンリーダーをインストールせねばならない。が、機械への負担は重くなり、メモリ不足が問題となる。そこでメモリを増設してもらうことになった。が、作業中に画面は真っ暗!クラッシュしてしまった。ああ!パソコンなしでの仕事は考えられない、万事窮すかと思ったが、新規購入してもらえることになる(^)

では、皆さん、「教えることは学ぶことです。ともに学ぶ喜びを大切に!」

再び神戸へ



教務課 木村 秀伯

旧姓石塚から名を変え、福岡センターより戻りました。神戸センターは私にとって、教官となって初めて赴任したこともあり、思い入れが深い施設です。9年ぶりに戻りしばらくの間は、

施設内の雰囲気の変化にとまどいましたが、一貫

した信念、その主張を耳にしているうちに、関西に戻ってきたことをしみじみ実感しています。今後は初心に戻って、周囲の意見を取り入れながら個性を伸ばして行きたいと思います。

よろしくお願ひします



教務課 中西 初男

3月からお世話になっております。兵庫県立盲学校から移ってまいりました。私の名前は末っ子で長男ということからこの名が付けられたそうなんです。淡路島で取れて、淡路島で栽培され

ました。幼少期は海や山を走り回っていましたが、生まれつき弱視で、段階を経て今は全くの全盲です。ですので、動きは少し遅いですが、弱視と全盲の方それぞれの気持ちは理解しているつもりです。微力ではありますが、できるかぎりのことをさせていただこうと思っております。寅年生まれて山羊座のA型です。相田みつをさんと坂村真民さんの詩集が大好きです。常に友好的・建設的にたずさわってまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

よろしくお願ひします



教務課 浅沼 旬

はじめまして。本年度4月1日から国立神戸視力障害センター教務課に事務官として配属になりました浅沼旬と申します。出身は岩手県、歳は20歳です。今年晴れて社会人となったわけで

ですが、まだまだ仕事も手につかず皆様にはご迷惑ばかりお掛けしてしまい申し訳ありません。しかし優しい職場の方々を支えられ、「一人前の社会人となる」を信念とし、毎日一生懸命頑張っています。まだまだ半人前ですが、よろしくお願ひします。

人事異動

3月1日付

◆ 新規採用

中西 初男

3月31日付

◆ 退職

今井 裕二

4月1日付

◆ 転出

柏谷 重明（教務課長）

→国立函館視力障害センター教務課長

久保 明夫（指導課主任生活支援専門職）

→国立函館視力障害センター指導課長

山田 哲史（指導課生活支援専門職）

→国立塩原視力障害センター指導課生活支援専門職

畠原 博（庶務課庶務係）

→厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課
社会参加促進室障害者スポーツ係

川名 敦（庶務課会計係）

→国立別府重度障害センター庶務課会計係

鈴木 響子（庶務課庶務係）

→国立福岡視力障害センター庶務課庶務係

◆ 転入

笹田 三郎（教務課長）

←国立身体障害者リハビリテーションセンター教
務課主任教官

木村 秀伯（教務課教官）

←国立福岡視力障害センター教務課教官

有馬 早苗（指導課主任生活支援専門職）

←近畿厚生局健康福祉部社会福祉監査官

高橋 博（指導課生活支援専門職）

←国立塩原視力障害センター指導課生活支援専門職

宮下 晃（庶務課庶務係）

←国立塩原視力障害センター庶務課庶務係

石毛 利宏（庶務課会計係）

←国立福岡視力障害センター庶務課会計係

◆ 新規採用

浅沼 旬（教務課業務係）

◆ 内部移動

森本 宏美（指導課入所者援護係長）

←庶務課給食係長

中山 和泰（庶務課給食係長）

←指導課入所者援護係長

中沢 将人（庶務課庶務係）

←教務課業務係

● 入所者募集中 ●

このような方にぴったりです

理療教育課程：あんまマッサージ指圧はりきゅうの免許を取りたい方。

生活訓練課程：歩行に不安な方、身の回りのできることを増やしたい方、パソコンなど情報機器に興味のある方。

入所資格

* 視覚での身体障害者手帳をお持ちの方

募集人員

理療教育課程：高等課程（中学卒） 15名
専門課程（高校卒以上） 30名

生活訓練課程：年間約20名

期 間

理療教育課程：毎年4月

生活訓練課程：随時

入所時期

理療教育課程：専門課程 3年間
高等課程 5年間

生活訓練課程：期間は個人で異なります。

入所審査

理療教育課程：書類審査、学力及び面接審査

生活訓練課程：書類審査

入所手続

※まず最寄りの福祉事務所または町村役場、本センター指導課までご相談ください。

TEL 078-923-4670

FAX 078-928-4122

E-mail sidou@kobe-nhb.go.jp

入所中の費用

利用者本人の収入申告書に基づき収入状況を確認し支援費基準により算定した額（利用料）を決定します。

〈負担基準上限額〉

他施設も含め、施設利用期間が通算して3年までは32,000円です。

3年を超えると53,000円になります。

* 通所の場合は上記の半額となります。

* 当センターに入所前に、他施設に入所していた場合は、その期間が加算されます。

* ご不明な点はお問い合わせ下さい。